

かわにし

市議会だより No. 246

令和6年
2024年
8月

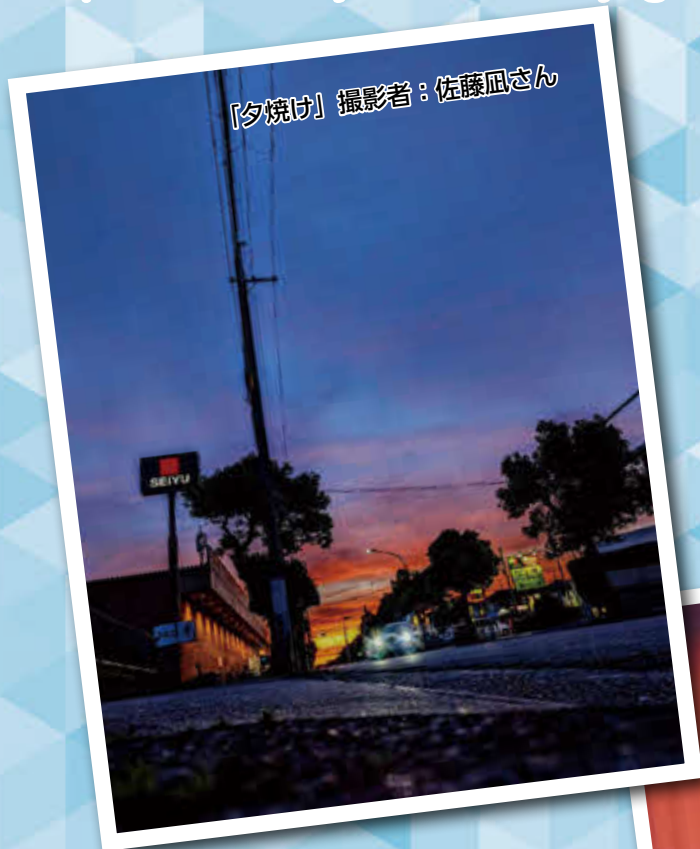
川西市議会
ホームページ



<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

川西市議会

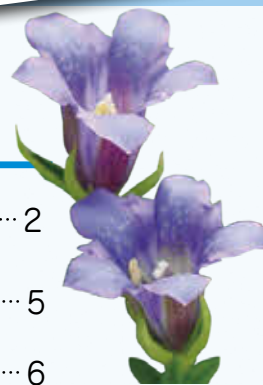
検索



今号から市内の高校と連携して紙面づくりを行うこととなり、川西緑台高校・川西明峰高校・川西北陵高校から写真を提供していただきました。

6月定例会号 もくじ

路線バス運行支援事業費補助金に関する補正予算など審議	2
常任委員会報告	
総務生活常任委員会	3
厚生文教常任委員会	3
建設常任委員会	4
審議結果等一覧・賛否の状況	5
一般質問	6
委員会視察報告	10
かわにし市議会からのお知らせ	11



市花りんどう

路線バス運行支援事業費補助金 に関する補正予算など審議

ガザ地区における人道目的の停戦等の実現に関する決議などを可決

令和6年第2回定例市議会は、6月5日から28日までの24日間の会期で開催されました。

今期定例会初日には、昨年10月に始まったガザ地区での紛争がまだ解決に至っていないことから、紛争の当事者をはじめ国際社会に対し、一刻も早い事態の平和的手段による解決に向けて、人道目的の停戦および人質の即時・無条件の解放、国際法の遵守や人道危機の改善をするよう川西市議会としての意思を表明する決議を行いました（11面参照）。

また、市長から提出された34議案については、本会議や各常任委員会において慎重に審議・審査を行っております（審議結果は5面参照）。

議案のうち、一般会計補正予算では、大和地域を巡回する路線バスを運行するための事業者に対する補助金について、運行見直しの前提条件として設定された輸送人員が目標に達しなかったことから、10月以降に便数を減便した上で運行を継続するとした内容が含まれており、議案を付託された常任委員会では極めて活発な議論が交わされました。委員会

においては、補正予算案を全員賛成で可決し、人件費や燃料費等を踏まえた補助金の柔軟な対応や、地域住民の願いである運行便数の維持を要望する付帯決議（4面参照）が賛成多数で付されました。

また、同巡回バスについては、現行便数の維持に関する請願が議会に提出され、賛成多数で可決しております（5面参照）。

このほか、市税条例の一部改正案や都市計画税条例の一部改正案、消防ポンプ自動車の買入れについても慎重な審議の上、いずれも原案のとおり可決しております（5面参照）。

最終日には、既に日本では批准されている女性差別撤廃条約について、その実効性を強化するための女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書を賛成多数で可決し、国に送付しております（11面参照）。

なお、一般質問では、今期は18人の議員が登壇し、市政全般にわたりますさまざまな議論が繰り広げられました（6から9面参照）。



あいさつ状はお出しできません

議員から残暑見舞状等（答礼のための自筆のものを除く）を出すことは、公職選挙法で禁止されています。

皆さまのご理解をお願いいたします。

議会の活動状況

5月

- 9日○建設常任委員会行政視察（愛知県額田郡幸田町）
- 10日○建設常任委員会行政視察（愛知県西尾市）
- 16日○厚生文教常任委員会行政視察（神奈川県高座郡寒川町）
- 17日○厚生文教常任委員会行政視察（埼玉県草加市）
- 24日○広報委員会
- 29日○議会運営委員会

6月

- 5日○第2回市議会定例会（招集日）
- 11日○議会運営委員会
- 13日○第2回市議会定例会（第2日）
- 14日○第2回市議会定例会（第3日）
- 17日○第2回市議会定例会（第4日）
- 18日○総務生活常任委員会
- 総務生活常任委員協議会
- 飛行場対策周辺整備調査特別委員会
- 19日○厚生文教常任委員会

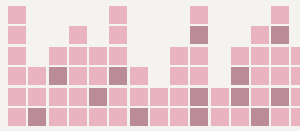
20日

- 建設常任委員会
- 建設常任委員協議会
- 28日○第2回市議会定例会（最終日）
- 総務生活常任委員協議会
- 議会運営委員会

7月

- 5日○議会運営委員会
- 16日○議会運営委員会
- 17日○広報委員会
- 29日○建設常任委員協議会
- 31日○広報委員会

常任委員会報告



総務生活常任委員会

委員 (委員長 〇〇 副委員長 〇〇)

◎田中 麻未 ○平岡 謙
岡田龍太郎 角田 慎司 福西 勝
秋田 修一 中井 成郷 吉岡 健次

消防ポンプ自動車の買入れについて

本案は、南消防署に配備している消防ポンプ自動車を更新時期となったため、新たに買入れしようとするものである。

質問 今回、水槽を装備していないコンパクトな車両を購入しようとしている点について、消火活動に十分な性能を有しているのか、市の見解を伺いたい。

答弁 現場の職員と検討した結果、配備を予定している久代出張所管内には道路幅が狭い地区があるので、従来と比較してコンパクトな車両としたもので、これにより災害現場に車両が近づけることから、迅速な初動対応が可能になると考えている。



南消防署 久代出張所

また、水槽がないことについては、資機材の積載スペースを確保できることから、必要な性能を有した消防ポンプ自動車と考えている。

川西市税条例及び川西市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、令和6年3月30日に公布された地方税法等の一部を改正する法律の制定に伴い、専決処分により条例改正を行った項目以外について、条例の一部を改正しようとする

ものである。

今回の税制改正に伴う本市の令和6年度予算への影響について伺いたい。

答弁 本案は、地方税法等の改正に伴い条例の一部を改正しようとするものであるが、引用規定の削除や引用条項の改正などの規定の整理を行うほか、本市では対象となる資産がないものに係る内容であることから、令和6年度予算には影響はないものである。

厚生文教常任委員会

委員 (委員長 〇〇 副委員長 〇〇)

◎岡 留美 ○加茂 文字
松隈 紀文 長田 拓也 榮 奈津子
大崎 淳正 黒田 美智 内山 裕介

兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する協議について

本案は、兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更することにについて、議会の議決を求めるものである。

質問 被保険者証の廃止に伴い、既に被保険者証をお持ちの方および本年12月2日以降に後期高齢者となる方への対応について伺いたい。

答弁 現在、被保険者証をお持ちの方については、12月2日

以降も、最長1年間は引き続き同被保険者証が使えることとなる。

また、新たに後期高齢者となり、かつマイナ保険証未保有の方については、申請なしで資格確認書を交付する予定である。

反対意見 本市議会では、昨年12月議会で健康保険証の存続を求める意見書を国へ提出し半年がたったが、いまだトラブルが続出しており、その問題や矛盾の解決には至っていないと考える。また、資格確認書についても、今後も続くのか分からない中で、紙の保険証の発行事務がなくなることに対しては大きな不安が残ることから、現在においても、提出した意見書と同様に、健康保険証の存続を望んでおり、本議案には反対する。

賛成意見 本市議会では、健康保険証の存続を求める意見書を採択し、政府に提出したが、残念ながら政府に思いは届かず、紙の保険証廃止が進められている状況であるが、医療現場ではマイナ保険証移行に対する不安は完全に払拭されていない。

しかし、法律が施行された以上、行政は法律にのっとって事務を進める必要があり、本案が否決された場合、市民生活に混乱が生じることも考えられることから、苦渋の決断で

はあるが、本案に賛成する。



後期高齢者医療被保険者証

同様の人数、収納率に対して改定後の保険料率で積算し計上しているものである。また、基金繰入金についても、当初予算と見込み方に変更はないものである。

建設常任委員会

委員 (委員長 〓 副委員長 〓)

◎大矢根秀明 ○川北 将
加藤 仁哉 斯波 康晴 山崎 孝弘
西山 博大 坂口 美佳 北野 紀子

令和6年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第1回)

【質問】 本案は、条例改正により、

令和6年度から8年度までの保険料率を改定したことに伴う介護保険料の増額、ならびに基金繰入金の減額を内容とするものと認識しているが、当初予算案計上時と比較して人数や収納率等の見込みに変更はあったのか伺いたい。

【答弁】

当初予算案提案時には、当該条例改正案が審議中の状況であったことから、令和5年度の保険料率で積算し計上していたが、本補正予算案においては、当初予算と

200万円増額して現在の運行本数を維持することは検討したのか伺いたい。

【答弁】

大和団地線については、地域で大和交通検討委員会が立ち上げられ、独自の広報誌の発行や地域のイベントでモビリティ・マネジメントを取り上げるなど、公共交通を盛り上げていただいております。今後の他の地域での活動の参考になるものと認識している。

令和6年度川西市一般会計補正予算(第1回)

【質問】 本補正予算案は、路線バス

運行支援事業において、大和団地線の輸送人員が目標値を達成できない見込みとなったことから、平日の便数を38便から30便に減便しようとするものであるとの説明があったが、当該路線については、地域住民がさまざまな取り組みを行っていることなどにより、運行状況に改善の兆しが見えてきていると認識している。そこで、こうした地域住民の取り組みに対する市の評価を伺いたい。

また、市として、補助額を約

後、地域住民の意思を反映した予算措置を行なうことを求める。

*1 付帯決議(要旨)

大和循環バスを平日1日38便から30便にすることを内容とする路線バス運行支援事業費補助金について、地域住民も協力して便数を維持してきた経緯がある中で、輸送人員の予測値をもって減便するのは拙速である感が否めず、また、補助金の上限が設定されてから一度も見直されていないことにも違和感を覚える。

しかし一方で、この補正予算案を可決しないことには、大和循環バスの運行を継続することはできず、当委員会は次のとおり要望する。

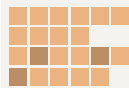
1. 路線バス運行支援事業費補助金について、人件費や燃料費等の動向を踏まえ、付帯決議を受けて設定した金額を適宜見直すなど柔軟に対応すること。

2. 大和循環バスの運行支援について、令和6年10月以降も地域住民の願いを踏まえ、平日38便の運行が可能となるよう必要な措置を講じること。

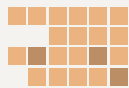


*1: 付帯決議

審議の対象である議案の議決に当たって付随的に付けられる意見または要望の決議。

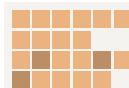


審議結果等一覧 第2回川西市議会(6月定例会)

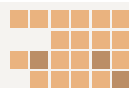


※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内容	審議結果等	付託委員会
報告第3号	令和5年度川西市一般会計予算の継続費繰越しについて	文化財事業	報告	-
報告第4号	令和5年度川西市一般会計予算の繰越明許費繰越しについて	管財事業 ほか17件	〃	-
報告第5号	令和5年度川西市一般会計予算の事故繰越しについて	スポーツ施設管理運営事業 ほか1件	〃	-
報告第6号	令和5年度川西市用地先行取得事業特別会計予算の繰越明許費繰越しについて	道路用地先行取得事業	〃	-
報告第7号	令和5年度川西市用地先行取得事業特別会計予算の事故繰越しについて	道路用地先行取得事業	〃	-
報告第8号	令和5年度川西市水道事業会計予算の継続費繰越しについて	水道基幹施設再構築耐震化事業	〃	-
報告第9号	令和5年度川西市水道事業会計予算の改良工事費、5期拡張工事費及び営業費用の繰越しについて	設計測量等委託 ほか3件	〃	-
報告第10号	令和5年度川西市下水道事業会計予算の建設改良費の繰越しについて	設計測量等委託 ほか1件	〃	-
報告第11号	専決報告について 専決第2号 川西市税条例等の一部を改正する条例の制定について	個人住民税の定額減税、国民健康保険税の軽減措置対象者の拡充 ほか	承認 (全員賛成)	-
同意案第5号 ~第20号	農業委員会委員の任命について	農業委員会委員の任期満了に伴い、清田耕一氏、小坂克典氏、佐藤根雄氏、庄田徳男氏、横田裕久氏、井上一朗氏、遠藤薫氏、大向善信氏、岡本昭徳氏、小林桃子氏、阪上量生氏、坂上和弘氏、平井政治氏、松田稔氏、水口充啓氏、森本優二氏を任命する	同意 (全員賛成)	-
諮問第1号 ~第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員の任期満了に伴い、井口宏一氏、浅田英範氏、五十嵐富佐子氏を推薦する	〃	-
決議案第1号	ガザ地区における人道目的の停戦等の実現に関する決議	11面参照	原案可決 (全員賛成)	-
議案第33号	兵庫県市町村職員退職手当組合格約の一部を変更する協議について	兵庫県市町村職員退職手当組事務所の位置の変更に伴い、兵庫県市町村職員退職手当組合格約の一部を変更する	〃	総務生活
議案第34号	消防ポンプ自動車の買入れについて	南消防署に配備している消防ポンプ自動車の更新時期が到来したため、新たに5713万8079円で買入れる	〃	〃
議案第35号	高規格救急自動車の買入れについて	北消防署清和出張所に配備している高規格救急自動車の更新時期が到来したため、新たに3610万4640円で買入れる	〃	〃
議案第36号	川西市保健センターZEB化改修工事請負契約の締結について	川西市保健センターZEB化改修工事を実施するため、契約を締結する	〃	厚生文教
議案第37号	損害賠償の額を定めることについて	市立川西病院において行った医療行為に係る損害賠償の額を定める	〃	〃
議案第38号	兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する協議について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、規約の一部を変更する	原案可決 (賛成多数)	〃
議案第39号	川西市立小中学校及び幼稚園等空調設備整備PFI事業に係る事業契約の変更について	川西市立清和台幼稚園の廃園、川西市立東谷幼稚園の休園に伴い、空調設備の維持管理費を減額する	原案可決 (全員賛成)	〃
議案第40号	川西市税条例及び川西市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	地方税法等の一部を改正する法律の制定に伴い、専決処分により条例改正を行った項目以外について条例の一部を改正する	〃	総務生活
議案第41号	令和6年度川西市一般会計補正予算(第1回)	带状疱疹ワクチン接種費助成に要する費用、新北消防署整備に係る設計業務委託に要する費用、路線バス運行支援事業費補助金に係る [※] 債務負担行為などの補正	〃	総務生活 厚生文教 建設
議案第42号	令和6年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第1回)	介護保険料改定に伴い、介護保険料を増額し、同額を給付費準備基金繰入金から減額する補正	原案可決 (賛成多数)	厚生文教
議案第43号	令和6年度川西市病院事業会計補正予算(第1回)	市立川西病院における医療行為に関して定めた損害賠償額に係る補正	原案可決 (全員賛成)	〃
請願第3号	大和循環バスの平日38便運行維持に関する請願書	大和循環バスを、令和6年10月からも平日38便で運行できるように支援を継続することを求める	採択 (賛成多数)	建設
意見書案第1号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	11面参照	原案可決 (賛成多数)	-



賛否の状況



※賛否が分かれたもののみ掲載

賛成：○ 反対：×

議案名	議員名	公明党				川西まほろば会				連合かわにし市民の会				日本維新の会川西市議団				日本共産党議員団		市民ファーストかわにし		無所属			
		大矢根秀明	山崎孝弘	榮奈津子	大崎淳正	平岡譲	秋田修一	松隈紀文	岡田龍太郎	加藤仁哉	西山博大	福西勝	川北将	中井成郷	岡留美	坂口美佳	内山裕介	角田慎司	田中麻未	黒田美智	吉岡健次		北野紀子	新波康晴	加茂文字
第2回定例会	議案第38号	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○
	議案第42号	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
	請願第3号	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
	意見書案第1号	○	○	○	△	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※地方自治法の規定により、大崎淳正議長は議員として議決に加わる権利を有していません。(ただし、可否同数のときは議長の決するところによる)



*2: 債務負担行為

予算は単一年度が原則であるが、一つの事業等が単年度で終了せず後の年度においても支出しなければならない場合に、あらかじめ後の年度の債務を予算で約束すること。

一般質問

※見出しの下のQRコードを携帯電話等で読み込むと、各議員の発言の様子をご視聴いただけます。

観光

**市内名所を巡る
バスツアーの実施を**



公明党 山崎 孝弘

質問

市民が余暇を満喫できるよう、市内の名所を巡るバスツアーを実施することや、不登校児童生徒がその友人や家族と参加する日を別途設定しツアーを実施することについて、市の見解を伺いたい。

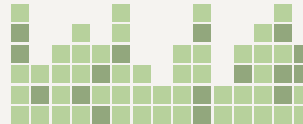
答弁

市内名所の周遊については、観光バスの通行に道路幅等の課題があるが、研究していかなければならないものと認識している。

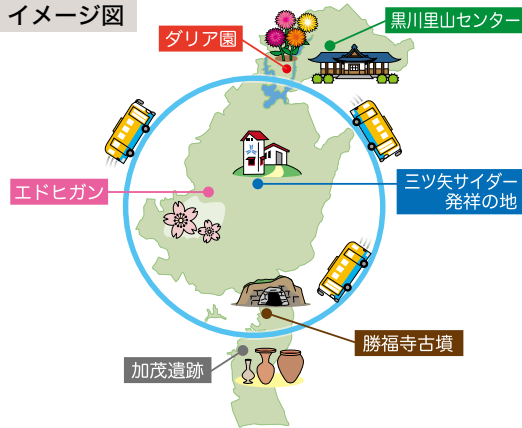
不登校児童生徒に特化せず、全ての子どもを対象とした多様な学びの場の一つとして考えていくことが大切であると認識している。

その他の質問項目

○本市主体でフードパントリーに取り組む考えについて ほか



イメージ図



環境衛生

**「ごみの減量」市民の
メリットを示せ**



無所属 長田 拓也

質問

ごみの減量を目的とする有料化が今必要なことなのか、

疑問に感じている。そこで、ごみの減量が市民にとって、どのようなメリットがあるのか、感情論ではなく具体的な数値をもった論理的な説明を伺いたい。

答弁

一般廃棄物処理基本計画において、1人1日当たり91グラムのごみの減量を掲げているが、その先の将来像などを明確に市民と共有することは困難と考えている。しかし、将来に環境を引き継ぐことは行政の責務と考えており、今後、その伝え方を研究していきたい。

その他の質問項目

○本市の給食について ほか

行政一般

**公民館の運営体制の
見直しを**



川西まほろば会 岡田 龍太郎

質問

公民館が生涯学習振興の中核施設であることは認識するものの、決算でその運営に係る経費等を分析すると、従来の運営体制を抜本的に見直す必要があると考える。そこで、公民館の今後の在り方に関する市の考えを伺いたい。

答弁

公民館の運営については、その設置目的から、受益者負担とならない部分は公費で負担す

べきと考える一方で、その合理化を図ることは重要と認識しており、指定管理を含めた民間委託や、地域への移管なども含め、最善の方法を幅広く検討していく考えである。

その他の質問項目

○一般廃棄物収集運搬業務について

教育

**「就学前教育保育施設」
公立が果たすべき役割問う**



日本共産党議員団 吉岡 健次

質問

市は、久代幼稚園と川西南保育所を一体化した(仮称)川西久代南こども園を民間法人により整備・運営する方針を示しているが、本市の就学前教育保育施設の果たすべき役割が公立施設を減らしても果たせるのか市の見解を伺いたい。

答弁

市としては、市全体の教育保育の質向上に向けた取り組みを進めることと同時に、必要な定員の確保も重要と考えている。市立施設の役割としては、市全体の教育保育の質向上に向けた取り組みを進めることと考える一方で、定員の拡充については、これまでどおり、民間法人による整備・運営を基本的な方針として進めていく考えである。

一部の質問のみ掲載しています。その他の項目はこちらへ

川西市議会

検索

福祉

福祉施設の老朽化への市の対応は



連合かわにし市民の会 福西 勝

質問

心身障害者総合福祉センターが築40年以上を経過するなど、本市の多くの福祉施設では施設の老朽化が進行していると認識しているが、その対応に関する市の考えを伺いたい。



川西作業所・小戸作業所



ひまわり荘

満寿荘

答弁

福祉施設に限らず、公共施設の老朽化が進行していることは認識しているが、各福祉施設の耐震性に問題はなく、公共施設の利用年数は60年程度と想定している。

現在のところ、大規模改修等の予

定は未定であるが、今後も老朽化の状況に応じ必要な改修を実施しながら、適切な維持管理を行っていききたい。

その他の質問項目

○ヘルパーマークの作成について

ほか

交通

地域公共交通会議に地域関係者を



公明党 平岡 謙

質問

地域公共交通会議は、地域の実情に応じたバス運行の対応などについて、地方公共団体が主催者となり、地域の関係者による合意形成を図る場であると認識しているが、当該会議の委員に地域の関係者が含まれていない理由を伺いたい。

答弁

当該会議の委員にはコミュニティ連合会会長および市民委員が各1名含まれており、各地域の関係者を含むことは困難と考えているが、今後とも、必要な場合は、地域の関係者にオブザーバーとしての参加を要請していく考えである。

その他の質問項目

○市立中学校少人数授業の現状と課題について

コミュニティ

コミュニティ活動への支援の考え方聞く



川西まほろば会 秋田 修一

質問

市として、コミュニティが行う活動を「業務」と認識しているのか伺いたい。また、活動で困難が生じた場合における、市の支援に関する考え方を伺いたい。

答弁

コミュニティが行う活動は組織として継続して実施されているものであることから業務と認識している。また、その活動において困難が生じた際には、相談内容や状況に応じ、当該コミュニティに寄り添いながら丁寧に対応するとともに、他のコミュニティにも情報共有を行うなどの対応を行っていきたいと考えている。

その他の質問項目

○中学校部活動の社会移行について

教育

中学校給食に対する不満解消に向けた取り組み聞く



日本維新の会川西市議団 田中 麻未

質問

令和5年12月に実施した市立中学校の全生徒を対象としたアンケート調査によると、依然と

して給食に対して不満を抱える生徒も一定数いることから、その解消に向けた市の取り組みを伺いたい。

答弁

当該調査の結果において、給食に対する不満は減少している一方で、米飯の残食率は改善に至っていない状況である。給食の満足度向上や残食を減らす取り組みとして、献立や調理方法などを工夫するほか、今後は栄養教諭を中心として実施している食に関する指導の機会を増やしていきたいと考えている。

国際交流

「やさしい日本語」の啓発を



連合かわにし市民の会 岡 留美

質問

多様な人々による支え合いの地域社会づくりをより一層進めるために、普段使われている言葉を外国人にも伝わるよう配慮した「やさしい日本語」を啓発していくことが大切と考えるが、市の取り組みについて伺いたい。

答弁

「やさしい日本語」については、これまでは全庁的な取り組みは実施していないものの、ホームページの一部で使用している。今後、職員の知識向上や市民



への啓発を行い、広く市民とのコミュニケーションの手法として、可能な範囲で「やさしい日本語」を取り入れていきたいと考えている。

その他の質問項目

○「子ども福祉避難所」について

福祉

質問 人生の最期に本人の意思が尊重される取り組みを

日本維新の会 川西市議員 内山 裕介

質問

人生の最終段階において 本人の意思が尊重される豊かな生活を旨とする上で、今後は「つながりノート」の活用だけでなく、先進自治体の事例を参考に、市が関わるサービスを実施する必要があると考えるが、市の見解を伺いたい。



つながりノート

答弁

市としては、つながりノートの、*4 ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の内容の周知に取り組みしており、議員提案の内容についても、今後の検討課題として、制度設計面での課題も含め、調査・研究をしていきたい。

その他の質問項目

○市内介護事業所の介護人材確保に向けた取り組みについて

行政一般

質問 会計年度任用職員の処遇改善を

日本共産党議員団 北野 紀子

質問

ジェンダー平等の観点から、男女間の賃金格差を是正するため、女性が大半を占める会計年度任用職員の処遇を、正規職員との格差を含め、改善するべきと考えるが、市の見解を伺いたい。

答弁

会計年度任用職員は女性のみを対象とした制度ではなく、また、正規職員と会計年度任用職員では制度そのものが異なることから、男女間の格差のみをもってその処遇の改善を判断することは困難である。今後、それぞれが従事する業務内容や責任等を見極め、近隣自治体との比較等も行いながら、そ

の勤務条件の改善に努めていきたい。

子ども・子育て

**「共同親権」導入
民法改正への対応**

市民ファーストかわにし 斯波 康晴

質問

離婚後も父母双方が親権を持つ「共同親権」を可能とする改正民法が5月に成立し公布されたが、この法改正を踏まえた、子どもの成長を支える支援体制の拡充・構築に向けた本市の取り組みに関する考えを伺いたい。

答弁

改正法は公布日から2年以内に施行される予定であるが、それまでに国がガイドラインを発出すると聞き及んでいる。今後、国が各省庁間の制度の調整等を図ることとなっていることから、現段階で本市の役割や対応等を示すことは困難であるが、その相談に当たっては、引き続き、子どもの目線も大切にしながら丁寧に対応をしていきたい。

福祉

**緊急通報システム事業の
課題など聞く**

公明党 柴 奈津子

質問

独り暮らしの高齢者等を対象に緊急通報装置と非常用ペンダントを貸与する緊急通報システム事業を実施しているが、その課題と今後の取り組みについて伺いたい。

答弁

本事業の利用に固定電話回線が必要となる点については、信号の発信が安定していることや、利用者負担を抑制できるといった利点がある。しかし、携帯電話しか持っていないという利用希望者の声もあることから、今後、必要なサービスと利用料などを踏まえ、本事業の在り方を見極めていきたい。

その他の質問項目

○本市における投票率向上のための取り組みについて

交通

**地域公共交通への
取り組み聞く**

連合かわにし市民の会 川北 将

質問

令和6年度からを計画期間とする川西市公共交通計画において、地域の移動課題対策支援事業を基本方針の重要な施策の一つと位置付けているが、これまでの取り組みとの違いについて伺いたい。

答弁

地域の移動課題解決に向けて、市と地域住民、交通

一部の質問のみ掲載しています。その他の項目はこちらへ

川西市議会

検索



*4: ACP(アドバンス・ケア・プランニング)

もしものときのために、望む医療やケアについて事前に自身の考えを示し、自身、家族、医療従事者と繰り返し話し合い、共有する取り組みのこと。

かわにし市議会だより 246号

事業者等が一体となり協議する取り組み方についてはこれまでと同様であるが、今後は、要望のあった地域だけではなく、市として課題と認識する地域についても、それぞれ寄り添いながら支援していく考えである。

その他の質問項目

○日常生活用具給付事業の対象品目の拡充について

教育

「中学校部活動の社会移行」丁寧に進めよ



市民ファーストかわにし 加茂 文字

質問 中学校部活動の社会移行は、子どもたちだけでなく、保護者や地域にも影響を与えるもので、地域クラブの在り方にも差があり、保護者からはさまざまな不安の声も聞かれる中、性急に決めるのではなく丁寧に意見を聞きながら進めべきと考えるが、市の見解を伺いたい。

答弁

市としては、中学校の部活動を持続可能なものにするため社会移行に取り組んでおり、子どもや保護者に仕組みを理解してもらうことが重要と認識している。今後は学校とも連携しロードマップを示していきたいと考えている。

その他の質問項目

○(仮称)子ども参加条例について



教育

「中学校部活動の社会移行」課題など



日本共産党議員団 黒田 美智

質問

中学校部活動の社会移行について、市は令和7年度末の完全移行を目指しているが、それに伴う課題への対応など、移行に関する市の考え方を伺いたい。

答弁 本市では、国のガイドラインに基づき、平日を含めて部活動の社会移行を進め、令和8年度までの2年間は、現行の部活動と地域クラブが並行して活動することとしている。今後、全ての部活動においてロードマップ等を作成して示せるよう、学校との連携を進めていく。

その他の質問項目

○川西市立総合医療センター経営強化プランと市の医療構想・総括について

教育

障害のある児童の進学時のサポート体制



日本維新の会川西市議員団 角田 慎司

質問 全ての児童と保護者が希望する小中学校へ進学するための本市の取り組みについて、障害のある児童が地域の小中学校への進学を希望した場合における学校決定までのサポート体制について伺いたい。

答弁

障害のある児童が地域の小中学校への進学を選択した際には、市教育委員会が設置する教育支援委員会において、本人および保護者の意向や教育体制の整備状況等を踏まえて検討した結果を基に

本人および保護者と合意形成を行い、学校を決定しており、今後も、本人および保護者の意向を尊重し、子ども一人一人の教育的ニーズに最も的確に応える決定ができるよう努めていきたい。

市民活動

文化協会に対する補助金の見直し



公明党 大矢根 秀明

質問 川西市文化協会では、市の補助金の見直しにより、芸術祭開催等に係る事業経費の捻出に苦慮していると聞いている。そこで、本市の文化芸術振興のため、同協会が長年にわたり担ってきた芸術祭等の在り方について、市の考えを伺いたい。

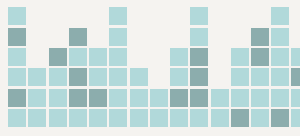
答弁

市では、令和5年度より補助金の仕組みを「団体運営補助」から「事業奨励補助」へと見直している。これまでも、同協会からさまざまな相談がある中で、芸術祭の開催方式等の助言を行っているが、引き続き、現在の補助金の活用方法等について協議をしていきたい。

その他の質問項目

○不登校への取り組みについて
ほか

委員会視察報告



厚生文教常任委員会

●実施日

令和6年5月16日・17日

●視察事項

神奈川県高座郡寒川町

「給食センターでの食育について」

埼玉県草加市

「シルバー人材センターの取り組みにつ

いて」

●視察委員

松隈 紀文	長田 拓也	加茂 文子
榮 奈津子	大崎 淳正	黒田 美智
内山 裕介	岡 留美	

寒川町では、新設の学校給食センターを訪問しました。

それまで、小学校は自校調理の完全給食、中学校は牛乳提供のみだったのが、給食室が老朽化し、「中学校でも給食を」との声も受け施設を一元化し、今は全ての学校にセンター調理の給食が届けられています。

整備に当たっては、子どもが調理員と同じし

ベルで作業を見て、言葉を交わせる見学用窓口の設置、誰もが利用できる食育実習室等が整備されており、食

の情報発信拠点でもある施設と運営に関する詳細な説明を受け

ました。

また、草加市

では、シルバー人材センターを

訪問し、大型商業施設の1階に設置され、センター会員が交代

で運営、月平均約300人超が利用する、親子

のひろば「のび〜すく青柳」の現場を見学しました。

この事業は、地域の子育て支援と高齢者の就業

機会の確保のため実施され、保育士等による

相談も行うなど、保護者同士の触れ合いの場とも

なっています。楽しそうに子どもたちと踊る



寒川学校給食センターにて

建設常任委員会

●実施日

令和6年5月9日・10日

●視察事項

愛知県額田郡幸田町

「高齢者移動支援施策（タクシー料金助成制度）について」

愛知県西尾市

「西尾市地域公共交通計画について」

●視察委員

加藤 仁哉	斯波 康晴	山崎 孝弘
大矢根秀明	川北 将	西山 博大
坂口 美佳	北野 紀子	

現在、物流・運送業界に加え、旅客運送業界でもドライバーの業務時間の短縮等で人手不足の影響等により路線バスの運行便数の減少や廃止が進むとされています。

幸田町では、高齢者移動支援としてコミュニティバスの運行、タクシー料金助成制度等を実施しておりますが、自家用車の保有率が高く、

センター会員の様子に触れ、高齢者が支え手側となる取り組みの力強さを感じました。
 どちらの取り組みにも、市民、地域、行政等が一体となった、地域づくりへの熱い思いがあらわれていて、当市の今後への参考となる調査となりました。
 (委員長 岡 留美)

コミュニケーションは使い勝手や路線、停留所等の課題により利用者が低迷しており、タクシール金助成事業はぜひいたくとも考える方が多いことから、利用者が少ない状況だそうです。駅の遠方で高齢化率が高い地域の公共交通が課題で、デジタル化による実証実験を行うなど、利用しやすい環境整備に取り組みられています。

西尾市の取り組みでは、コミュニティバスは市内を満遍なく設定し地域の足として丁寧に取り組まれています。幹線への接続および地域内の移動を担うコミュニティバスや「いこまいカー」等の費用は全て一般財源で賄われており、コミュニティバスの運行設計は地域公共交通協議会を設置し地域住民が決定されています。西尾市も自家用車保有率が高く、さまざまなお交通支援事業をモビリティ・マネジメント教育も行いながら普及啓発に取り組んでおられます。

今回の調査を通して学んだ市町の取り組みを参考に、本市の施策に生かしていきたいと考えています。



(委員長 大矢根 秀明)

受理した陳情

- イスラエルのガザ侵攻に関する陳情書
- 市立東谷幼稚園を『市立牧の台みどりこども園の分園』とすることについて (陳情)
- ガザ地区の人命保護および即時停戦を求める決議を求める陳情書

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書〈要旨〉

1979年(昭和54年)、国連はあらゆる分野における女性差別の撤廃をうたった女性差別撤廃条約(以下「条約」という。)を採択し、日本は1985年(昭和60年)に条約を批准しました。さらに1999年(平成11年)には、この条約の実効性を強化し女性が抱える問題を解決するために個人通報制度と調査制度を認めた女性差別撤廃条約選択議定書(以下「選択議定書」という。)が国連総会で採択され、2000年(平成12年)に発効しています。条約批准国189か国のうち、選択議定書は115か国が批准していますが、日本はまだ批准していません。

女性差別撤廃委員会における日本の条約実施状況報告の審議では、選択議定書の批准が奨励され、日本が批准を検討するよう繰り返し求めています。

第5次男女共同参画基本計画は「女子差別撤廃条約を積極的に順守し」「女子差別撤廃条約の選択議定書については、諸課題の整理を含め、早期締結について真剣な検討を進める」としています。政府はこの計画にのっとり、選択議定書を速やかに批准されるよう求めます。

ガザ地区における人道目的の停戦等の実現に関する決議〈要旨〉

イスラエルとパレスチナのイスラム組織ハマスの軍事衝突により、パレスチナ自治区ガザ地区において、尊い人命が深刻な危機的状況にさらされるとともに、市街地に甚大な被害をもたらしており、これまで、この地域における紛争に関しては、国連での度重なる決議をはじめ、国際社会がその解決に向けて努力しているところであるが、未だ解決に至っていない。

よって、川西市議会は、イスラエルとハマスの双方をはじめとする全ての当事者及び国際社会に対し、一刻も早い事態の平和的手段による解決に向け、人道目的の停戦及び人質の即時・無条件の解放、国際人道法を含む国際法の遵守、民間人の被害の最小化、人道支援物資の供給を通じた人道危機の改善を強く求める。

また、政府におかれては、G7をはじめとする関係各国との緊密な連携のもと、双方に対して人道目的の停戦を働きかけることを強く求める。

かわにし市議会からのお知らせ

9月定例会(予定)

8月28日(水) 午前10時	本会議(招集日)
9月 4日(水) 午前9時30分	本会議(一般質問)
5日(木) //	本会議(//)
6日(金) //	本会議(//)
9日(月) 午前10時	常任委員会
10日(火) //	//
11日(水) //	//
12日(木) //	決算委員会
19日(木) //	本会議(議案上程)
25日(水) //	本会議(最終日)

閉会中の継続審査(予定)

9月30日(月) 午前9時30分	決算委員会
10月 1日(火) //	//
2日(水) //	//
3日(木) //	//
4日(金) //	//

10月臨時会(予定)

10月24日(木) 午前10時	本会議(招集日)
25日(金) //	本会議(最終日)

※急きょ会議の開催予定が変更になることがありますので、最新の情報はホームページをご覧ください。市議会事務局へ直接お問い合わせください。

かわにし市議会だより 愛称募集

賞品

QUOカード
1万円分(1名様)

※同一名称で複数の応募があった場合は抽選

応募資格

市内在住もしくは在学の
高校生 ※応募は1人1点まで

応募期限

2024 / 9 / 20 (金)

詳しくはこちら



かわにし市議会だより



かわにし市議会だよりは、昭和47年から始まって50年以上にわたって議会活動を報告してきました。高校生みなさんにも、協力していただきながら川西市の政治をより身近に感じていただけるよう愛称を募集します。

お問い合わせ
応募先

川西市議会
事務局

〒666-8501 川西市中央町12番1号
☎072-740-1250

広報委員会

委員長	川北 孝弘
副委員長	山崎 紀文
委員	松隈 文子
	加茂 秀明
	大根 慎司
	角田 留美
	岡田 健次
	田中 麻末
	吉岡 健次

この暑さはまだしばらく続きそうです。夏バテにお気をつけてくれれば幸いです。

この暑さはまだしばらく続きそうです。夏バテにお気をつけてくれれば幸いです。

この暑さはまだしばらく続きそうです。夏バテにお気をつけてくれれば幸いです。

この暑さはまだしばらく続きそうです。夏バテにお気をつけてくれれば幸いです。

この暑さはまだしばらく続きそうです。夏バテにお気をつけてくれれば幸いです。

この暑さはまだしばらく続きそうです。夏バテにお気をつけてくれれば幸いです。

編集後記

市議会だよりをお読みいただき、ありがとうございます。

さて、本市議会では年4回「かわにし市議会だより」を発行しています。編集を担当する広報委員会にて、市民に親しまれる紙面づくりと若者が政治に興味を持つ一助として、市内の県立高校と連携して紙面づくりを行うこととしました。今号の表紙は川西緑台高校、川西明峰高校、川西北陵高校の生徒から写真を提供いただきました。また、未来を担う高校生の感性を取り入れるために、市議会だよりの愛称を市内在住もしくは在学の高校生から募集することとしております。これからも市議会の情報を分かりやすく、そして親しみやすい紙面づくりを目指して頑張っていきたいと思います。